



阪大外国語学部 ×
 みのお市民活動センター
 マンスリー多文化サロン

東南アジアの華人社会へのアプローチ

東南アジアの経済分野で力を握っている人々として「華僑・華人」について聞いたことがある方も多いのではないかと思います。この講義では、「華僑・華人」とはどのような人々か具体的な例を紹介しながらお話しします。特に講師がこれまで研究してきたボルネオ島や他のインドネシアの地域の事例を用いますが、それを通して「華人社会をとおして地域を見る」とどうなるか、というお話にも発展させてみたいと思います。

松村 智雄（大阪大学言語文化研究科言語社会専攻講師）

東南アジアの中国系住民が形成する社会について現地調査を踏まえて研究。



2021年4月、
 阪大外国語学部は
 箕面船場に
 移転しました！

【日時】2021年4月15日（木）19:00-20:00
 【場所】オンライン（参加者にはリンクをお知らせします）
 または **みのお市民活動センター ☎ 072-720-3386**
 箕面市坊島4-5-20 みのおキューズ モール WEST1-2F
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催のみとなる場合があります
 【お申込み受付】2021年4月2日 朝9時より（4月12日×切）
 大阪大学外国語学部 ✉ mts.minoh@gmail.com
 または ☎ 072-730-5013 ※センター参加の方はお電話でお申込みください。
 ※13日までに連絡メール不着の場合は、担当者までお知らせください。
 【参加費】無料【定員】オンライン50名・センター参加10名



主催：大阪大学外国語学部・みのお市民活動センター
 （協力：大阪大学共創機構社会学共創部門）

阪大外国語学部 × みのお市民活動センター マンスリー多文化サロン



「滝ノ道ゆずる」

◆毎月第3木曜 19:00-20:00 オンライン開催 ◆各受付日の朝9時より受付開始



阪大「ワニ博士」
外国語学部の頃

これからも継続予定です。お楽しみに！

【2020年10月～2021年3月の開催内容】

2020年10月15日(木)【特別編】

水難伝承の国際比較～カッパを探して三千里！？～

永原 順子 (大阪大学大学院言語文化研究科 講師)

2021年1月21日(木)

多様な南アジアのイスラーム文化

山根 聡 (大阪大学大学院言語文化研究科 教授)

2020年11月19日(木)【特別編】

うごめくフィリピン、その祈りと旅路

宮脇 聡史 (大阪大学大学院言語文化研究科 准教授)

2021年2月18日(木)

ミャンマー古典音楽の現在

井上 さゆり (大阪大学大学院言語文化研究科 准教授)

2020年12月17日(木)【特別編】

タイの人々の日常生活と仏教

村上 忠良 (大阪大学大学院言語文化研究科 教授)

2021年3月18日(木)

実はパンの美味しい国デンマーク

大辺 理恵 (大阪大学大学院言語文化研究科 講師)

【予告】5月・6月のマンスリー多文化サロン

5月20日(木) (5月6日より受付) **ハンゲルのはなし**

岸田 文隆 (大阪大学 言語文化研究科 教授)

いまでは電車の駅名表示などでもなじみのあるハンゲルですが、この文字の歴史について解説します。古代には韓国・朝鮮語を表記する固有の文字はなく、漢字の音や訓を借りて表記する方法が用いられていましたが、不便なため、15世紀に朝鮮王朝第4代の世宗大王によって民族文字ハンゲルが作られました。ハンゲルが国内でどのように使われ、また、日本をはじめとした外国にどのように知られるようになったのかについて、具体的な資料を示しながらお話しします。

6月17日(木) (6月4日より受付) **劇場から見るドイツ現代演劇**

北岡 志織 (大阪大学 言語文化研究科 講師)

レッシング、ゲーテ、シラー、ビューヒナー。数多くの著名な作家を生み出したドイツは今も昔も演劇大国であり、どの街にも「いかにもヨーロッパらしい」豪華で伝統的な劇場が存在します。しかし近年、これまでの伝統を打ち破るような斬新な演劇空間が注目を集めています。そのような空間では、これまで劇場に不可欠だとされていたもの(例えば客席や舞台)が全く無い、ということもあり得ます。現代ドイツにおいて演劇のあり方がいかに変化しているのか、さまざまな劇場の写真や上演の映像をお見せしながらお話しできればと思います。



2021年4月、阪大外国語学部は
箕面船場に移転しました！



主催:大阪大学外国語学部・みのお市民活動センター、協力:大阪大学共創機構社会学共創部門